

大型クラゲ類(ビゼンクラゲ[スナイロクラゲ]、ヒゼンクラゲ、  
エチゼンクラゲ)の同定方法

2009年8月

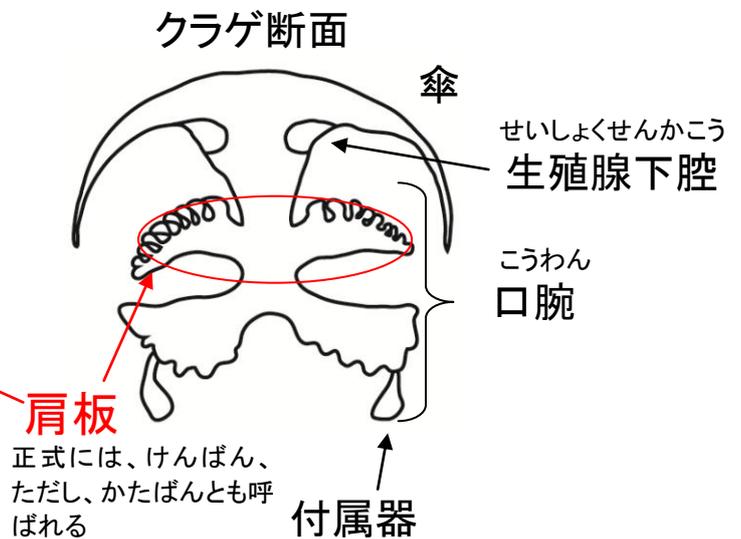
(独)水産総合研究センター 日本海区水産研究所

1. 口腕(こうわん)の部分が大きくしっかりと硬い(紐、ひだ状でない) } のであれば  
 肩板(けんばん、または、かたばん)がある

- ①ビゼンクラゲ／スナイロクラゲ(両種の区別はむずかしい)
- ②ヒゼンクラゲ
- ③エチゼンクラゲ

のどれか

②ヒゼンクラゲ



①ビゼンクラゲ／スナイロクラゲ



③エチゼンクラゲ



## 2. 傘の表面

①ビゼンクラゲ／スナイロクラゲ： 「ぶつぶつ」なしで平滑



表面をさわると  
ツルツルして  
いる感じ

②ヒゼンクラゲ： 大小2種類の「ぶつぶつ」あり, 色はない時もある

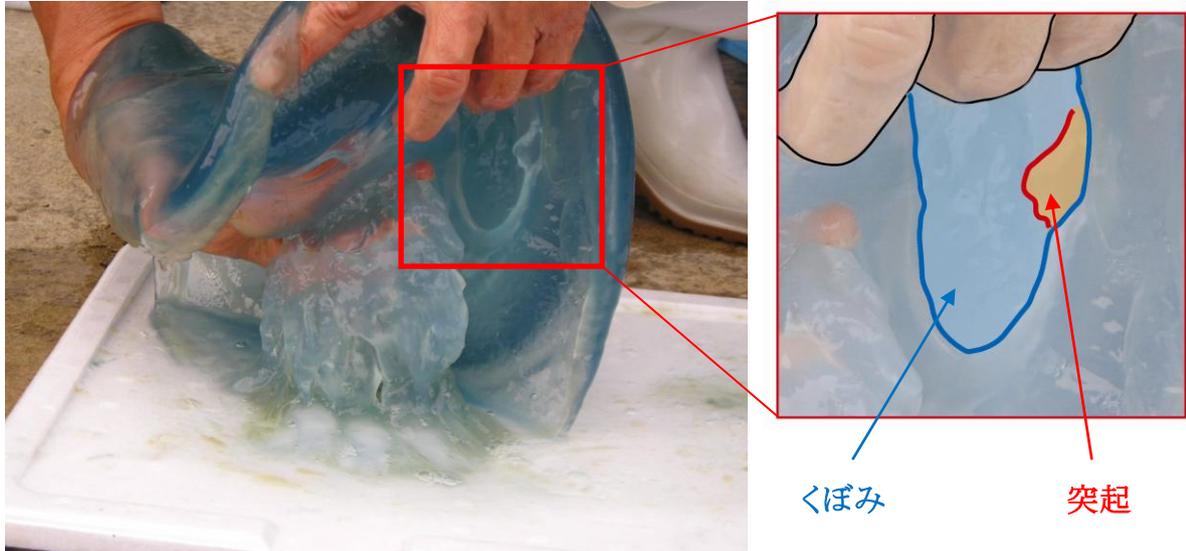


③エチゼンクラゲ： 細かい色なしの「ぶつぶつ」あり。ざらざらした感じ



3. 傘をひっくり返して、口腕の付け根あたりのくぼみ（生殖腺下腔、4 か所）の外側の縁に突起があるかないか。

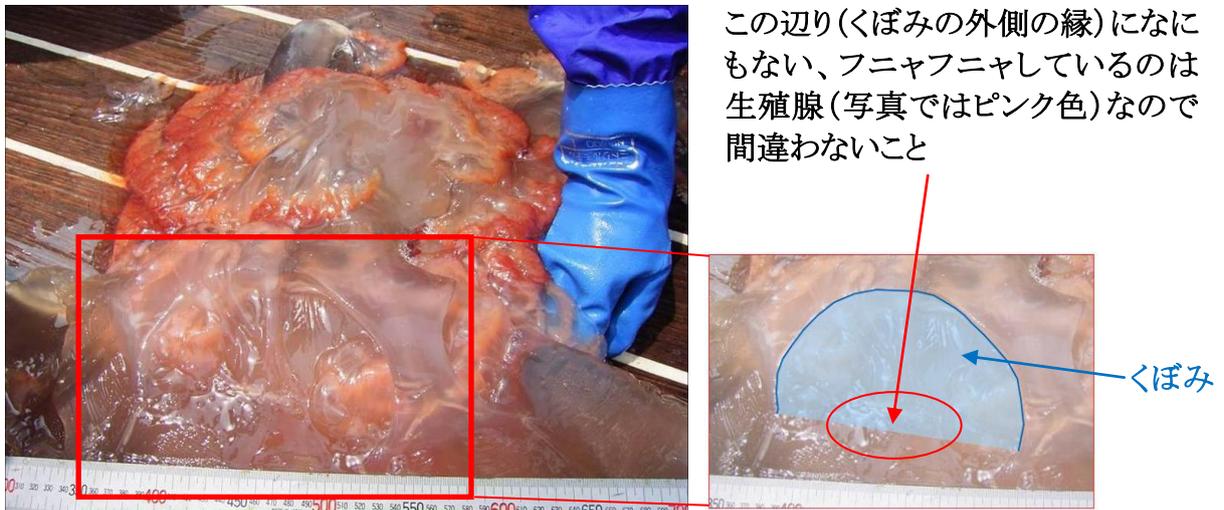
①ビゼンクラゲ／スナイロクラゲ：突起あり



②ヒゼンクラゲ：突起あり



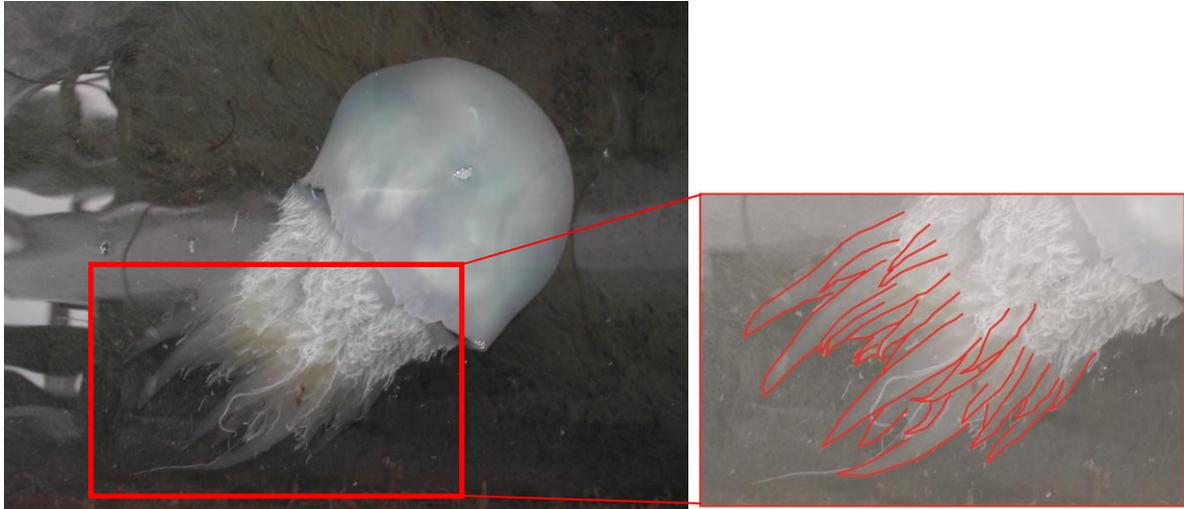
③エチゼンクラゲ：突起なし



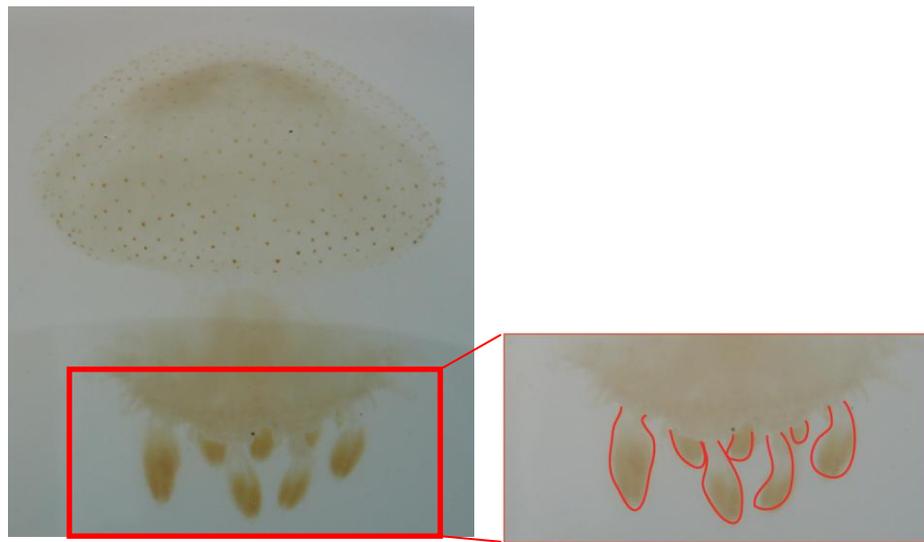
4. 付属器の形状, ただし外れて無くなっていることが多い.

付属器: 口腕の後部から派生する器官、様々な形があるが役割は不明

①ビゼンクラゲ/スナイロクラゲ: 長い円錐形、筆状、密集



②ヒゼンクラゲ: 短くて扁平、まばら



③エチゼンクラゲ: 長い紐状、密集



## 5. 全体の色.

①ビゼンクラゲ／スナイロクラゲ： 傘は青っぽい色，口腕はうす茶色。ただし有明海、中国近海では口腕が濃い赤褐色

②ヒゼンクラゲ： 白っぽい色

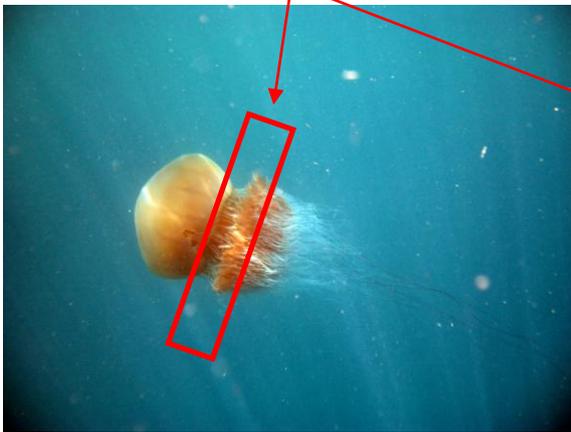
③エチゼンクラゲ： 赤茶色

**色は大きく変化することがあるので注意**

## 6. 口腕

海中のエチゼンクラゲは、分岐した口腕の外側先端が尖って見える

この部分



## 7. 他の大きくなるクラゲ

ユウレイクラゲ類(ユウレイクラゲ、キタユウレイクラゲなど)



口腕はモワモワしてしっかりしていない。傘の縁の切れ込みが深く、花びらのよう。色は白、紫、赤茶色など変化



弱ったり、死んだ個体で写真の様な傘内側の筋肉構造が透けて見えることがある

#### 8. 注意事項

クラゲは刺胞、刺胞毒を持つため、同定作業中はクラゲを直接触らないこと、飛沫もかからないようにすることが必要です

謝辞： 写真の使用を許可して下さった方々に感謝いたします。千葉県水産総合研究センター、新潟県水産海洋研究所、石川県水産総合センター、島根県水産技術センター、水産工学研究所、西海区水産研究所、北海道大学

参考資料： Omori M and Kitamura M (2004) Taxonomic review of three Japanese species of edible jellyfish (Scyphozoa: Rhizostomeae). *Plankton Biology and Ecology*, vol. 51(1):36-51.

(お問い合わせ)独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所  
井口 直樹

Tel: . 025-228-0622 Fax:025-223-7425

E-mail: iguchi@affrc.go.jp